

学習指導要領解説における小学校・中学校の調理実習の系統性を図った指導③ (安全・衛生指導編)



実習の安全管理等については、各学校の実態に即し、熱源や用具等の使い方を含め実習室の使い方に関する安全規則を定め、これらを掲示したり指導計画の中に位置付けたりすることが大切です。

【小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編、中学校 技術家庭編より】

用具の取扱いについて

用具名	小学校 家庭科	中学校 技術・家庭科(家庭分野)
包丁	相手に刃を向けて渡さない。 置く場所、置き方の工夫をする。	小学校の学習を踏まえ、ふきんやまな板の衛生的な取扱いや包丁などの刃物の安全な取扱いができるようにする。
	安全に気を付けてよく洗い、水気を拭き取る本数を確認し、保管箱に入れたりする。	
まな板	水でぬらし、ふきんで拭いて使う。	火気、包丁、食品などについての安全と衛生に留意し、食品の購入や管理を適切に行うよう十分に留意する。整備や手入れを適切に行うことが技能の習得を補完するとともに、実生活でも役立つことに気付くようにする。
	使用后、流水をかけながら洗い、十分乾燥する。	
ふきん	ふきんと台ふきんの区別をする。	
	洗剤液などで洗い、直射日光に当てて乾燥する。	
こんろ	換気に注意し、火傷の防止に留意する。 使用前後に器具栓を確かめる。 火力を調整する。 鍋の底がぬれていないか確かめる。 周囲に燃えやすい物を置いていないか確かめる。 周りの汚れを拭き取る。 余熱にも注意させる。	熱源については、主として電気とガスの特徴を知り、電気やガス用の器具を効率よく安全に取り扱うことができるようにする。 小学校の学習を踏まえ、使用後の後始末についてはガスの元栓の閉め忘れや電源の切り忘れがないようにする。
茶碗、用具等	調理実習後、茶碗等を重ねすぎないようにしたり清潔な場所に収納したりする。	

服装について

	小学校 家庭科	中学校 技術・家庭科(家庭分野)
服装	3 実習 (2) 活動がしやすく安全性に配慮した物を準備して着用するように指導する。 (清潔で、付いた汚れが分かりやすいエプロン等) 袖口をまくったり腕カバーを付れたりするなどして作業に適したものを着る。髪の毛などが食品や料理器具などに触れないように三角巾を着ける等の工夫をする。	3 実習 (2) 活動しやすい物を身に付けさせ、安全と衛生に配慮するようにする。 食品を扱う場面では、エプロンや三角巾を着用させて清潔を保つようにするとともに、手洗いを励行させるなど衛生面に配慮するように指導する。

食品の取扱いについて

	小学校 家庭科	中学校 技術・家庭科(家庭分野)
選択	3 実習 (3) 調理に用いる材料は安全や衛生を考えて選択するようにする。	3 実習 (1)(2) 食品の購入や管理を適切に行うよう十分に留意する。

		<p>米飯とみそ汁、青菜とじゃがいも以外は題材を指定していない。</p> <p>地域・学校・児童の実態に応じた多様な食品を用いることになる。</p>	
食物アレルギー	3 実習 (3)	<p><u>食物アレルギー</u>については、児童の食物アレルギーに関する正確な情報の把握に努める。</p> <p>調理実習で扱う材料にアレルギーの原因となる物質を含む食品が含まれていないかを確認。食品によっては直接口に入れなくても、手で触れたり、調理した時の蒸気を吸ったりすることで発症する場合もある。</p>	
持参	3 実習 (3)	<p><u>児童が家庭から持参する場合は</u>、実習の前に指導者が腐敗していないか匂いや色などを確かめたり、実習時間までの保管に十分留意したりする。</p>	
魚肉	3 実習 (3)	<p>生の魚や肉については小学校の段階では、加熱不足が生じやすく扱いや衛生面での管理が難しいので用いないようにする。</p>	
卵		<p>卵を用いる場合には、新鮮であることを確認し、加熱調理をするように指導する。</p>	

調理技能に関わって

	小学校 家庭科	中学校 技術・家庭科 (家庭分野)
洗い方	B (2) ア	B (3) ア (イ) ア (ウ)
魚や肉	小学校では扱わない。	加熱することで衛生的で安全になることにも触れるようにする。食中毒の予防のために、安全で衛生的な扱い方を工夫できるようにする。また、ごみを適切に処理できるようにする。
後片付け	衛生的に環境に配慮した後片付けができるようにする。 仕事の能率だけでなく、次に使用する。場合を考えて扱ったり、保管したりすることの大切さにも気付くようにする。	廃棄物や残菜物については、持続可能な社会の構築に関連付けてその有効利用に努めるとともに、自治体の処理方法等に対応して処理するようにする。
食器調理器具	よくすすぐなど衛生面にも配慮するようにする。	

